

小学校個別支援級 6年

学びを広げ、深める学校放送番組 「歴史にドキリ」を視聴して

横浜市立杉田小学校 金子 実

【実践報告の概要】

個別支援学級では、それぞれの児童の特性に合わせて学習プログラムを工夫して進めている。歴史学習では用語も多く理解にも時間がかかる。そこで本番組を継続視聴することで歴史学習への興味関心を高めながら学ぶ楽しさを感じさせたいと考え、学習のまとめとして視聴記録を書かせた。時間をかけて書くことで思考を整理し学びを獲得できるからである。その結果、視聴を繰り返すたびに番組内容を深く捉え、記述が詳しくなっていた。他の番組で学ぶ際も、要点を捉えた発言や記述が目立つようになった。

【取組の具体】

学習内容の確認

前時の学習との関連と合せて本時のガイドをする。

番組視聴

最後まで静かに視聴する。
(必要に応じて止めて解説)

番組のポイントを確認

視聴の仕方や内容のとらえ方のこつとして、必要なことを画面に書き込む。

教科書や資料集を参考にしながら視聴記録を書く

分かったこと、気になったところを教科書や資料集を使って自分の言葉でまとめる。必要に応じて質問に答えたりアドバイスを送ったりする。

視聴記録をレポートとして提出

レポートを添削して修正点を確認し、事後指導をする

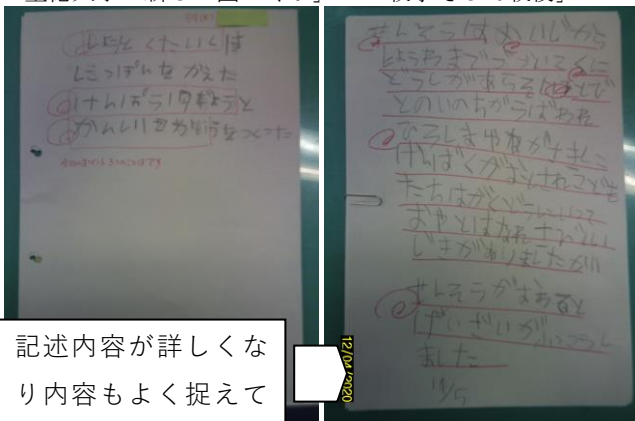
提出後、内容を添削し、学習で押さえられたことを評価する。文章の書き方についてはこの時に指導することで、文章力を付ける相乗効果が期待できる。

(2枚目の視聴記録)

「聖徳太子～新しい国づくり」

(32枚目の視聴記録)

「戦争そして戦後」



【活用番組と実践者による番組分析】

歴史にドキリ (6年)

人物の活躍を、時代背景を交えて10分とコンパクトまとめられている。その構成は、

- ・MCによる時代の概要解説 (時代をとらえやすいように)
- ・映像と共に時代の解説 (解説に合わせた映像と共に)
- ・ドキリポイント (要点のおさえ)
- ・歌によるまとめ (要点が歌詞に散りばめられている)
- ・まとめ (「年号語呂合わせ」による暗記法)

(その他 ピタゴラスイッチ・ふしぎエンドレス・未来広告ジャパンを活用)

【本実践における工夫点】

- ・0分スタートとしたいところだが、児童の実態に合わせて学習に入る前に本時の学習課題を簡単に確認し、学習のガイドとした。
- ・説明のテンポが速い、内容の理解が難しそうなどの様子が見られたときは声かけをし、場合によっては画面を静止して解説する。¹⁾
- ・歌の歌詞を確認して、内容を押さえる。
- ・ドキリポイントを使って学習内容を確認する。
- ・必要に応じて場面を再生して確認する。¹⁾ その際に画面上への記入などの手立てをとる。(画面にスクリーンガイドとして、ホワイトボードペンで描けるボードが装着されている。)
- ・まとめ方は特に形式を決めない。文章上気になる点は添削と口頭で事後指導にて行う。添削による評価は、学習内容として必要な内容をどの程度記述し、文章化できたかでおこなった。

¹⁾ 配信動画や録画での活用により可能

【本実践の成果と課題】

教科書や資料をもとに考えるという形で学ぶことが難しい児童にとって、理解しやすいストーリーで構成された番組で学習することは内容を捉えやすく、学習に取り組みやすかったようである。

活用をすすめる中で、「歴史の学習が楽しい」「歴史が好きになった」との感想が聞かれた。また、書くことを得意とはしていなかったが、視聴記録を取る度に文が長くなり、内容が詳しくなってきた。この文章力は他の教科学習においても生かされるようになった。

GIGA スクール構想が実現することで複数学年がいる特別支援学級においては、一人1台の環境が児童の実態に合わせた学習が展開できると考える。